

講義コード	11C0121100	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	渡部 真弘	開講期	第2期		
科目名	行動経済学Ⅰ										
履修前提条件						備考					
授業の目的	行動経済学の基礎知識の習得が目的である。経済主体の心理的側面を考慮することで捉えられる経済活動を概観することが目的である。										
到達目標	行動経済学の知見との対比により、標準的な経済学理論の理解が促進される。										
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、週に少なくとも4時間（計60時間以上）の自主的な学修が必要である。講義資料、講義内容を復習するための演習問題及びその解答をWebClassを通じて配布する。演習問題は試験対策には不可欠であるので、各自積極的に取り組むことが望ましい。										
授業計画	<table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>【第1回】 ガイダンス：行動経済学とは</p> <p>【第2回】 不確実性下の行動：エルスバーグのパラドックス</p> <p>【第3回】 不確実性下の行動：期待効用理論（1）</p> <p>【第4回】 不確実性下の行動：期待効用理論（2）</p> <p>【第5回】 不確実性下の行動：リスクに対する態度</p> <p>【第6回】 プロスペクト理論：参照点、損失回避</p> <p>【第7回】 プロスペクト理論：心理会計</p> <p>【第8回】 プロスペクト理論：確率ウェイト関数、確実性効果</p> </td> <td style="width:50%; vertical-align: top;"> <p>【第9回】 利他性：ナッシュ均衡、囚人のジレンマ</p> <p>【第10回】 利他性：最後通牒ゲーム、独裁者ゲーム</p> <p>【第11回】 利他性：不平等回避</p> <p>【第12回】 時間を通じた行動：時間割引率</p> <p>【第13回】 時間を通じた行動：双曲的割引、準双曲的割引、時間非整合性</p> <p>【第14回】 時間を通じた行動：自己制御、コミットメント</p> <p>【第15回】 まとめ</p> </td> </tr> </table>									<p>【第1回】 ガイダンス：行動経済学とは</p> <p>【第2回】 不確実性下の行動：エルスバーグのパラドックス</p> <p>【第3回】 不確実性下の行動：期待効用理論（1）</p> <p>【第4回】 不確実性下の行動：期待効用理論（2）</p> <p>【第5回】 不確実性下の行動：リスクに対する態度</p> <p>【第6回】 プロスペクト理論：参照点、損失回避</p> <p>【第7回】 プロスペクト理論：心理会計</p> <p>【第8回】 プロスペクト理論：確率ウェイト関数、確実性効果</p>	<p>【第9回】 利他性：ナッシュ均衡、囚人のジレンマ</p> <p>【第10回】 利他性：最後通牒ゲーム、独裁者ゲーム</p> <p>【第11回】 利他性：不平等回避</p> <p>【第12回】 時間を通じた行動：時間割引率</p> <p>【第13回】 時間を通じた行動：双曲的割引、準双曲的割引、時間非整合性</p> <p>【第14回】 時間を通じた行動：自己制御、コミットメント</p> <p>【第15回】 まとめ</p>
<p>【第1回】 ガイダンス：行動経済学とは</p> <p>【第2回】 不確実性下の行動：エルスバーグのパラドックス</p> <p>【第3回】 不確実性下の行動：期待効用理論（1）</p> <p>【第4回】 不確実性下の行動：期待効用理論（2）</p> <p>【第5回】 不確実性下の行動：リスクに対する態度</p> <p>【第6回】 プロスペクト理論：参照点、損失回避</p> <p>【第7回】 プロスペクト理論：心理会計</p> <p>【第8回】 プロスペクト理論：確率ウェイト関数、確実性効果</p>	<p>【第9回】 利他性：ナッシュ均衡、囚人のジレンマ</p> <p>【第10回】 利他性：最後通牒ゲーム、独裁者ゲーム</p> <p>【第11回】 利他性：不平等回避</p> <p>【第12回】 時間を通じた行動：時間割引率</p> <p>【第13回】 時間を通じた行動：双曲的割引、準双曲的割引、時間非整合性</p> <p>【第14回】 時間を通じた行動：自己制御、コミットメント</p> <p>【第15回】 まとめ</p>										
成績評価の方法	評価割合は演習問題40%、期末試験60%とする。演習問題は10回分程度を予定しており、数回分の演習問題の提出は義務となる。										
フィードバックの内容	全ての演習問題・定期試験の模範解答・得点をWebClassを通じて配布する。演習課題の解説を授業時間内で行う。										
教科書											
指定図書											
参考書	『行動経済学－伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して』大垣 昌夫、田中 沙織（有斐閣）2014、『行動意思決定論－経済行動の心理学』竹村 和久（日本評論社）2009、『行動経済学－感情に揺れる経済心理』依田 高典（中央公論新社）2010、『A Course in Behavioral Economics』Erik Angner (Palgrave MacMillan) 2016、『Behavioral Economics』Edward Cartwright (Routledge) 2014										
教員からのお知らせ	上記の授業計画に基づいて講義を進める。履修者の理解度を考慮しながら授業を進めるので、進度によって内容を変更することがある。教科書は指定しない。担当教員が執筆した講義資料を配布する。講義内容に関する質問は、授業中に積極的に行って構わない。										
オフィスアワー	本講義に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワー（金曜日4時限、2号館516研究室）にて受付ける。										
その他	個別の質問・相談を希望する場合は、担当教員のオフィスアワーを利用するか、メールにて事前に日程調整を行うこと。										